

会 議 録

会議名		令和8年度 第3回 清新地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)		中央区役所 中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049(直通)		
開催日時		令和8年9月2日(水)19:00~20:30		
開催場所		清新公民館 大会議室		
出席者	委 員	17人(別紙のとおり)		
	事務局等	3人(中央6地区まちづくりセンター所長ほか2名)		
公開の可否		☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	なし
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議 進行表		1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 (1)地域活性化事業交付金の申請について ・みんなのeスポーツ広場 ・清新防災フェス ・清新地区防災ガイドブック作成事業 (2)清新地区防災ガイドブックについて ・清新地区防災ガイドブック作成委員会から報告 (3)その他 ・事務局からの報告事項 次期総合計画の意見聴取について 地域活性化事業交付金 事業まとめ誌について 4 閉会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

1 開会

事務局により開会

2 会長あいさつ

大山会長あいさつ

3 議題

(1)地域活性化事業交付金の申請について

地域活性化事業交付金の申請のあった3件について、それぞれ申請団体から申請内容全体について説明を受けた後、質疑応答、意見、助言を行った。概要は次のとおり。

ア 申請団体:清新地区多世代 e スポーツクラブ

事業名：	みんなの e スポーツ広場～e スポーツでつむぐ世代の絆！～
事業目的：	○多世代間の地域コミュニティの充実 ○高齢者の「健康増進」と「生きがいの創出」 ○持続可能な福祉・地域活性化モデルの確立 ○オレンジサポートセンターの認知度の向上
事業内容：	○ゲームコンテンツ ○多世代交流を促すサブコンテンツ(前年実績からの継承) ○【今年度強化】中高生ボランティアの参画

<主な意見・質疑等> (○は委員の発言、●は申請団体の発言)

○イベントの開催時期はどのように考えているか。

●児童が参加しやすく、中高生も参画しやすい日程として、冬休み又は春休みで開催したいと考えている。

○昨年の結果では、高齢者の参加が少ないと感じた。今回、どのような周知方法を考えているか。

●オレンジサポートセンターや公民館などへのチラシの配布やポスター等の掲示の他、SNS でも周知を図り、他の方法も検討している。

- 昨年は高齢者の数は少なかったが、とても喜ばれていた。高齢者のみを対象としたeスポーツのイベントを実施するきっかけにもなり、繋がりができたと感じている。
- 経費ではパソコンなど機材の賃借料が大きいですが、交付金の交付率低下後となる4年目以降の費用の捻出方法について、現段階での考えはあるか。
- 自団体や関係団体が所有しているパソコンで同様のことができるよう、自分たちのできる範囲でプログラムなどの改善、改良に取り組んでいる。時間がかかることではあるが、再来年くらいには、機材の賃借があまりかからなくなるよう調整している。

<結果>

採用すべき事業とする。

イ 申請団体:清新防災フェス実行委員会

事業名:	清新防災フェス
事業目的:	○防災をテーマとした誰もが参加できる体験型のイベントを開催し、地域住民の防災意識の向上と発災時でも助け合える地域住民同士のつながりをつくる契機とする。 ○地域防災の新たな担い手の確保の一助とする。
事業内容:	○清新防災フェスの開催 対象者:清新地区住民 実施内容(予定) 校庭 起震車体験、消火体験、非常食体験など 体育館 避難所体験、心肺蘇生体験、緊急通報体験など

<主な意見・質疑等> (○は委員の発言、●は申請団体の発言)

- 昨年、住民側として参加し、非常に良い取組だと感じた。防災用品の展示も興味を引くような形で展開されており、イベントの中で購入することができれば、さらに良かったと思う。
- 今回も事業者に防災用品の展示をしてもらう計画であるが、見たり触ったりできる形での出展を考えており、現地での販売は難しいとの話を聞いている。
- 参加は自治会員に限らず清新地区の住民を対象とされている。マンションを含めてチラシなどでイベントを周知したいと思うが、子どもたちが参加しても良いか。
- 清新地区内の多くの方にいろいろな体験をしてもらうことで、防災意識の向上につなげることを本事業のねらいとしている。自治会の加入の有無や年齢に関わらず、多くの方に参加してもらいたいと考えている。

○地区内の多くの方に参加してもらえるこのようなイベントを通じて、自治会への加入に繋がることにも期待したいと思う。

<結果>

積極的に採用すべき事業とする。

ウ 申請団体:清新地区防災ガイドブック作成委員会

事業名:	清新地区防災ガイドブック作成事業
事業目的:	○地区の特性を考慮した災害への備えとして、身近な情報を掲載したガイドブックを配布し、住民が災害に備えて対策を行う際の一助とする。 ○地域防災活動の大切さや重要性について、防災意識の向上を図る。
事業内容:	○清新地区に特化した防災ガイドを 10,000 部作成する。 (A4 サイズ・中折り／全16ページ)

<主な意見・質疑等(○は委員の発言、●は申請団体の発言)>

○イベントでの活用その他、配布する対象はどう考えているか。

●自治会の加入世帯への配布その他、地区内で開催される防災に関する訓練や各種講座などで活用することを想定している。

○ガイドブック作成事業であると1回限りの事業と捉えられるが、今後の展開などの考えがあるか。

●来年も同様のものを作成する考えはないが、情報や内容は古くなっていく中で、ガイドブック作成などの事業は一定期間を経過すれば再申請できることになっているので、必要な時期が来たら、その時に合う情報で改めて作成できると思う。

○来年も防災の関係で、異なる事業があれば、別事業として申請をすれば良いと思う。この事業もとても大事なものであるため、ぜひ進めて欲しいと思う。

<結果>

積極的に採用すべき事業とする。

(2) 清新地区防災ガイドブックについて

前回の会議の際に各委員へ提出を依頼した、防災ガイドブック掲載項目の意見のまとめ及び昨年度にグループワークで検討した結果について事務局より報告がされた

後、清新地区防災ガイドブック作成委員会から、ガイドブックの記載項目などの検討状況について報告された。

<主な意見・質疑等(○は委員の発言、●はガイドブック作成委員会の発言)>

○ガイドブック作成の目的は、地区住民の防災意識の向上を図り、それぞれが災害に対して日ごろから備えを整えるなどの行動につなげることにあると思う。作成や配布は終わりではなく、始まりと考える。ガイドブックを配布するだけではなく、例えばガイドブックを用いた講習会や勉強会の開催など、より防災意識の向上のための機会を設けることについても考えて欲しい。

●地区住民の防災意識の向上を促すため、これまで無かったガイドブックを配布することも大きな一歩と考えている。より理解してもらうことが大事と認識しており、講座を開くのも一つの方法と思う。

●清新地区の地域性を踏まえた内容とする中で、様々なことが想定される中で項目出しに苦慮しているところであるが、ガイドブックにより得られる知識的な部分と防災フェスの体験的な部分が揃って、防災意識が高まり、日ごろの備えなどの行動に繋がるものと考えている。

●これまで作成委員会で掲載する内容などについて検討を重ねてきたが、今後は、委員会で業者も交えて進めていく。

(3)その他

事務局から、次期総合計画の策定に係る意見聴取は、まちづくり会議ではなく区民会議で実施することになったことの報告を行った。

<主な意見・質疑等>

意見等なし。

地域活性化事業交付金事業まとめ誌について、事務局から資料の説明を行った。

<主な意見・質疑等>

意見等なし。

4 閉会

山口副会長により閉会

以 上

まちづくり会議委員出欠席名簿

No.	団体等	団体での役職等	氏名	出欠
1	清新地区自治会連合会	会長	大山 孝	出
2	清新地区自治会連合会	副会長	齋藤 直樹	出
3	清新地区自治会連合会		武田 邦雄	出
4	清新地区自治会連合会		丹波 晴道	出
5	清新地区社会福祉協議会	会長	山口 敏夫	出
6	清新地区社会福祉協議会	副会長	神谷 静枝	出
7	清新地区社会福祉協議会	会計	田所 洋子	出
8	清新地区民生委員・児童委員協議会	会長	久須見 美奈子	出
9	清新地区民生委員・児童委員協議会		浅見 治平	出
10	清新公民館	館長	木下 泰雄	出
11	清新公民館	スポーツ推進委員	高柳 博文	出
12	清新地区老人クラブ連合会	会計監査	山中 森勝	出
13	清新中学校	校長	野口 宏之	出
14	清新こどもセンター	館長	押田 直子	出
15	小山小学校 PTA			欠
16	小山中学校 PTA	副会長	渡辺 友巳	欠
17	防犯指導員		磯崎 巧	出
18	清新公民館区青少年健全育成協議会	会長	片野 十二	出
19	清新地域包括支援センター	センター長	菅原 聡	出
20	南橋本商栄会	会長	雨宮 勇一	欠